明治史年間紀事

鹿児島縣下
賊徒蜂起之事件

于時明治十年第一月西海の浪平穏ならず政府より注目ある陸軍士官命を奉じて赤龍丸へ乗組鹿児島へ入港す抑此港ハ東北ハ大隅ニ属し西ハ薩摩ニ面ハ海峡およひ港口ニ至て狭し中央ニ櫻島あり此島より鹿児島港へ海上二里之處で同所製造所の弾薬を積込んとせう際同縣士族ら此を差止め弾薬を掠奪し遂ニ私學舎の手始めとし数千人屯集し西郷氏ニ迫て隊長たらんとを乞ふ同氏ハ確乎として動かん論すニ大義以て為と説も伏せずこれよりも謝絶して漸く暗ナ一ニ桐野篠原の両氏と巨魁と仰ぎ諸方の士族を煽動して其数一万余人三月十日ニ至り熊本へ繰出し官軍と激戦すれ西々軍ニ利あらずと云是不得止の謂なり同氏ハ維新の功臣ニて其名世ニ高し櫻島の花をちらし悪名を万代ニ残さんとハ可惜

篠原国幹
西郷隆盛
淵邊高照
桐野利秋
[illegible]

明治十年三月十日御届
日本橋通壱丁目拾九番地
出版人 大倉孫兵衛
南金六町十四番地
画工 月岡米次郎
價六錢